

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	20
地区名	横須賀小学校

●地区の概況

市中央部に位置する。広田川・矢作古川と矢崎川にはさまれた地区の大部分は氾濫平野で、広く自然堤防が分布し、その上は住宅地となっているものが多い。北端部が山地となっているほか、名鉄西尾線・上横須賀駅周辺の盛土地は地区の中心街となっている。主要地方道西尾幸田線、主要地方道西尾吉良線などが幹線道路となっている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	2611 世帯	
65歳未満	5274 人	73.2 %
65歳以上	1897 人	26.3 %
合計	7207 人	

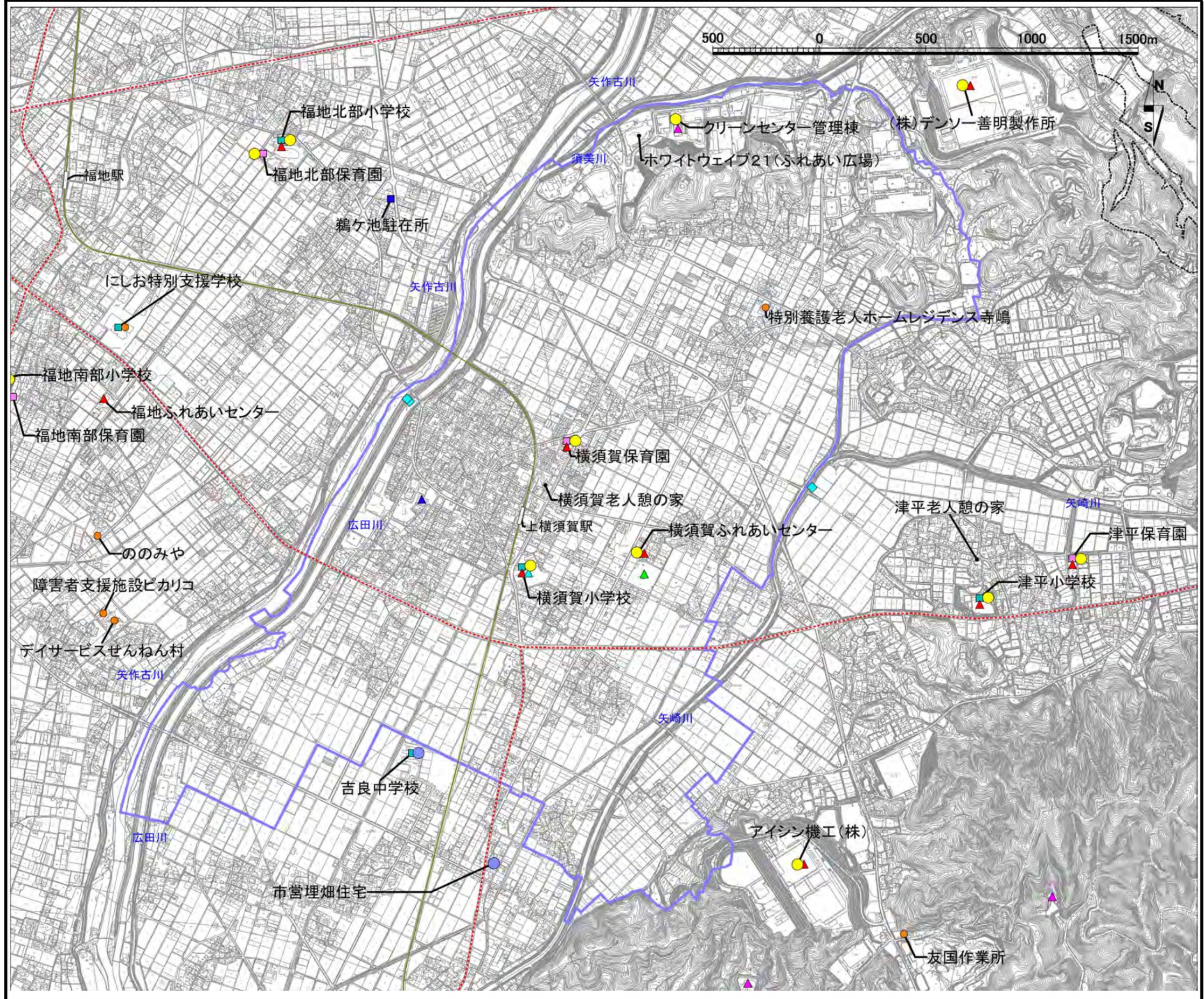
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

広田川・矢作古川と矢崎川にはさまれていることから、洪水時は北部丘陵地を除く地区の大半が浸水し、避難所が浸水するおそれがある。北部丘陵地では土砂災害の危険もある。地震時は、全域で建物倒壊の危険性が高く、丘陵地以外では液状化の危険性があるほか、住宅密集地では延焼火災発生のおそれがある。津波・高潮発生時には、南部から中部にかけて浸水が想定されており、北部の浸水想定区域外の指定避難所に避難者が集中するおそれがある。

●凡例

● 指定緊急避難場所	● 学校
● 指定避難所	● 幼稚園・保育園等
● 津波一時待避所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・ その他備蓄倉庫等
● 福祉避難所	▲ 水防倉庫
◎ 市役所・支所等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
● 警察署等	▲ 防災活動拠点
● 消防署等	▲ 衛生施設
● 救急病院	● その他の施設
◆ 水位観測所	
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	20
地区名	横須賀小学校

●地区別大雨等被害の特性

地区北部の丘陵地を除き、ほぼ全域が浸水想定区域であり、広範囲にわたり浸水深が1m以上3m未満となり、北部の須美川左岸の一部地域では最大浸水深が5m以上10m未満となる。地区内に1箇所ある指定避難所は浸水想定区域に含まれている。丘陵地では急傾斜地崩壊や土石流が発生する危険性がある。

●避難環境評価

避難所収容者数	2663 人
避難者数	7207 人
最長避難距離	約 3.5 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

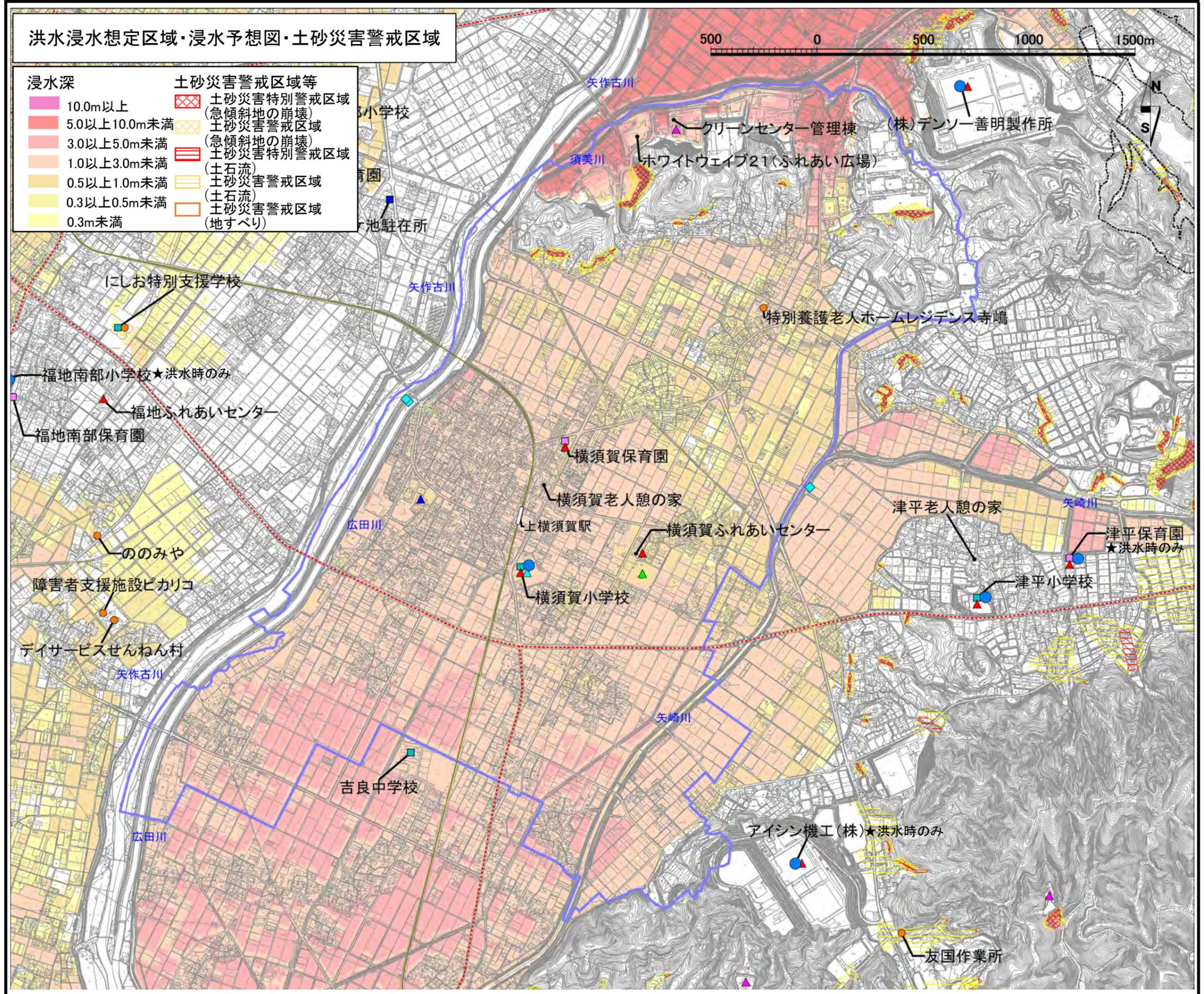
対象全河川(重ね合せ)	5m以上10m未満
矢作川	5m以上10m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	3m以上5m未満
朝鮮川	範囲外
矢崎川	3m以上5m未満
北浜川・二の沢川	範囲外
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	12 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	13 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	1 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	1 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	20
地区名	横須賀小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、ほぼ全域で震度6強、一部では最大震度7となる。(下図参照)
 北側の丘陵・山地部を除き、液状化の危険度が高く、すべての避難所、緊急輸送道路である西尾幸田線、西尾吉良線は液状化被害を受けるおそれが高いほか、上横須賀駅西部等の住宅密集地では延焼火災の危険性がある。

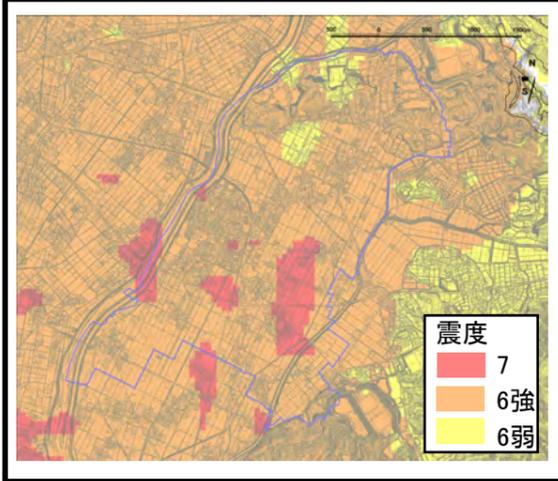
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	5032人
--------------------------	-------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

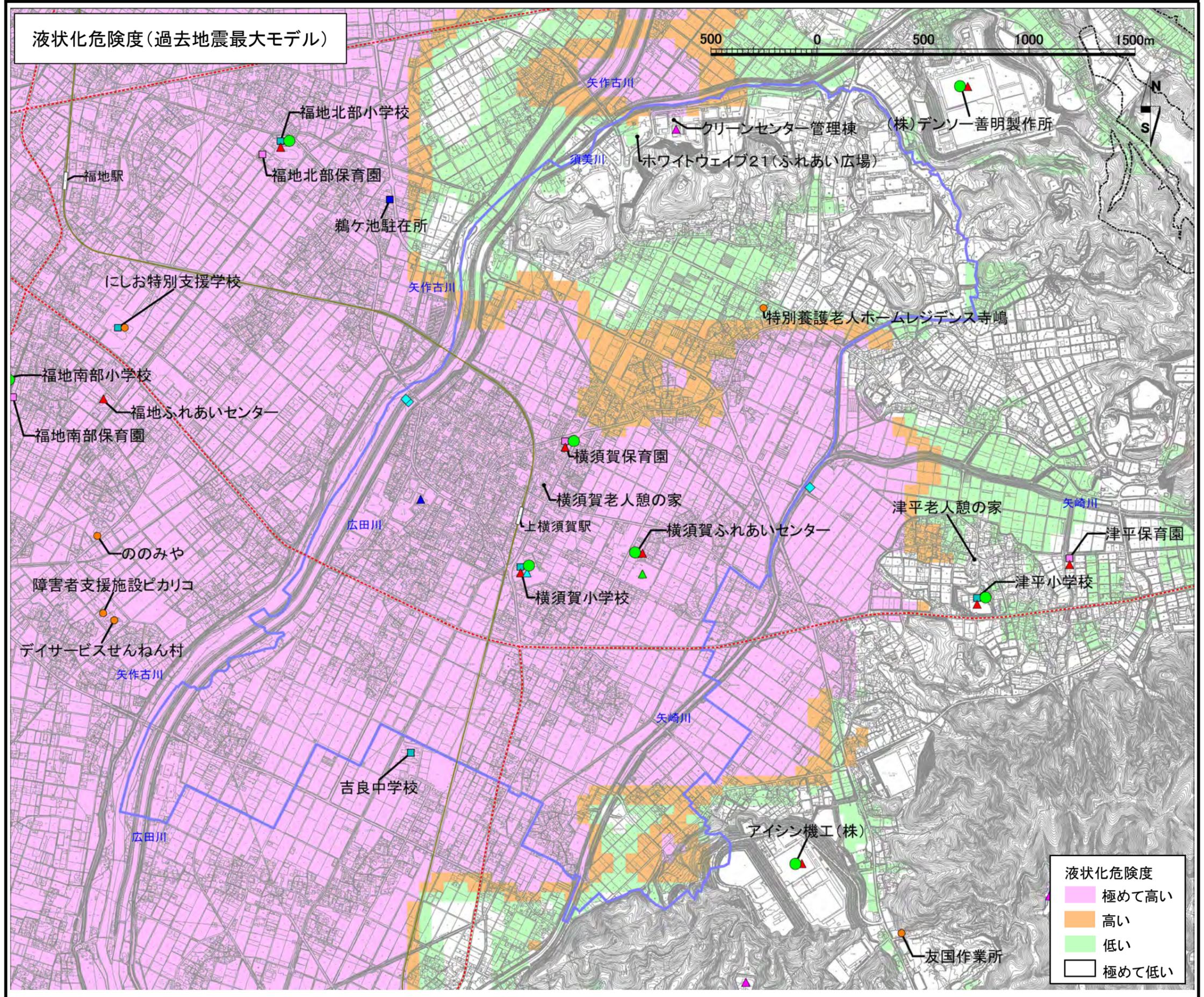
建物全壊数	1125棟
建物半壊数	1024棟
死者数	66人
重傷者数	72人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所(地震時使用可)
- 福祉避難所
- ◎ 市役所・支所等
- 警察署等
- 消防署等
- 救急病院
- ◆ 水位観測所
- ◆ 雨量観測所
- 学校
- 幼稚園・保育園等
- ▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
- ▲ 水防倉庫
- ▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
- ▲ 防災活動拠点
- ▲ 衛生施設
- その他の施設
- 小学校区界
- 市町村界
- 鉄道
- 緊急輸送道路



液状化危険度
 極めて高い
 高い
 低い
 極めて低い

西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	20
地区名	横須賀小学校

●地区別津波被害の特性

地区南部に浸水想定区域が広がり、広範囲で1m以上3m未満の浸水深が想定されている。避難目標は、北部にあるクリーンセンター管理棟、中部にある横須賀保育園、横須賀ふれあいセンターであり、逃げ遅れた場合は、横須賀小学校や荻原小学校区の北部にある吉良中学校へ避難することになるが、いずれも浸水想定区域内にあり、高層階への避難が必要となる。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	0人
避難所収容者数※1	2698人
避難者数	5150人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 2.4 km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

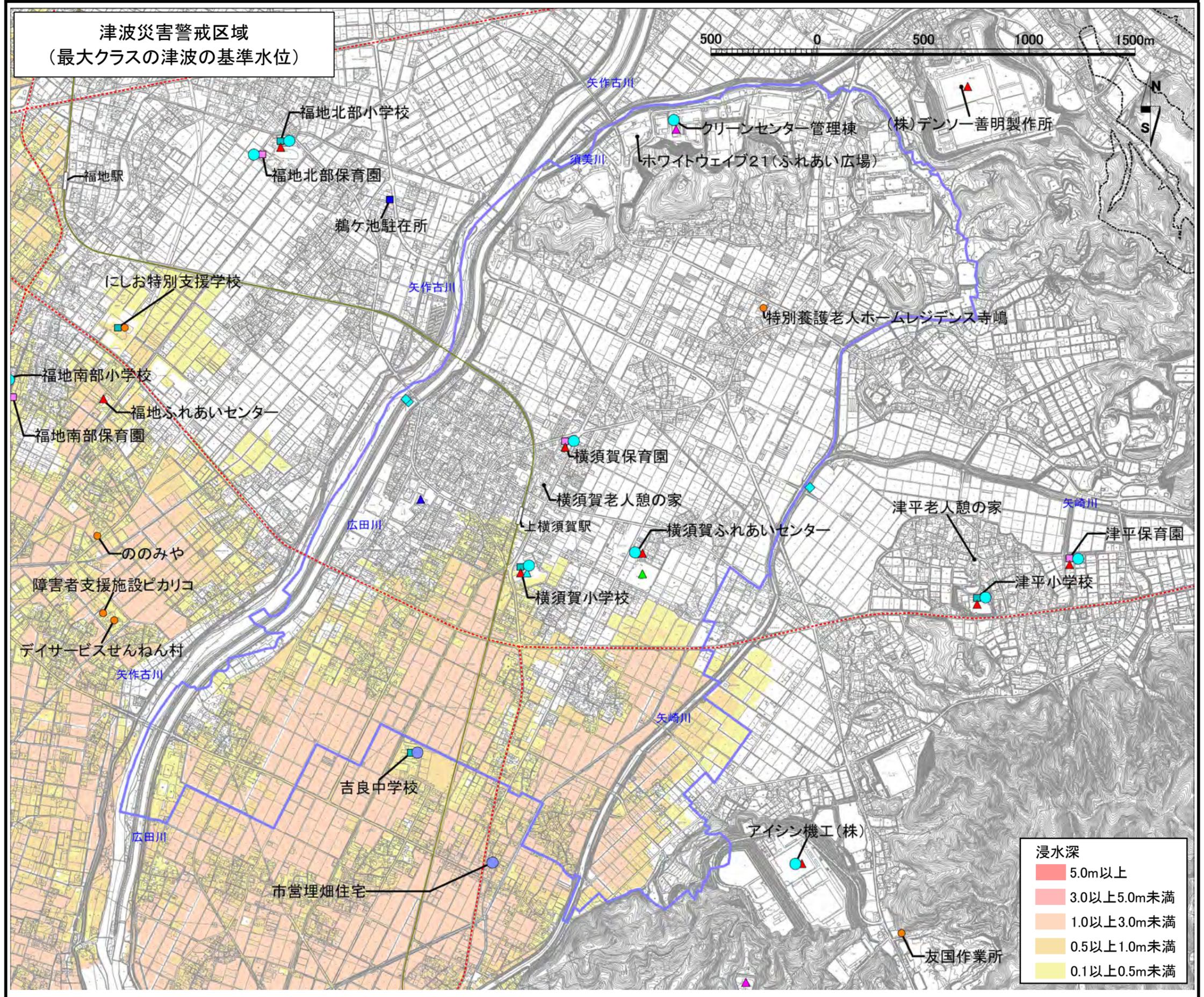
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	1m以上3m未満
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	1m以上2m未満

●津波発生時の避難先

避難目標: クリーンセンター管理棟、横須賀保育園、横須賀ふれあいセンター
緊急避難先: 横須賀小学校、吉良中学校(校区外)、市営埋畑住宅(校区外)

●凡例

● 指定緊急避難場所	● 学校
● 指定避難所 (津波時使用可)	● 幼稚園・保育園等
● 津波一時待避所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・ その他備蓄倉庫等
● 福祉避難所	▲ 水防倉庫
◎ 市役所・支所等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
● 警察署等	▲ 防災活動拠点
● 消防署等	▲ 衛生施設
● 救急病院	● その他の施設
◆ 水位観測所	
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - - 市町村界
— 鉄道	- - - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	20
地区名	横須賀小学校

●地区別高潮被害の特性

地区北部を除き、ほぼ全域が浸水想定区域となっており、南部では広範囲にわたり、浸水深が3m以上5m未満となる。地区内に2箇所ある指定避難所のうち、横須賀小学校は浸水想定区域に含まれている。

●避難環境評価

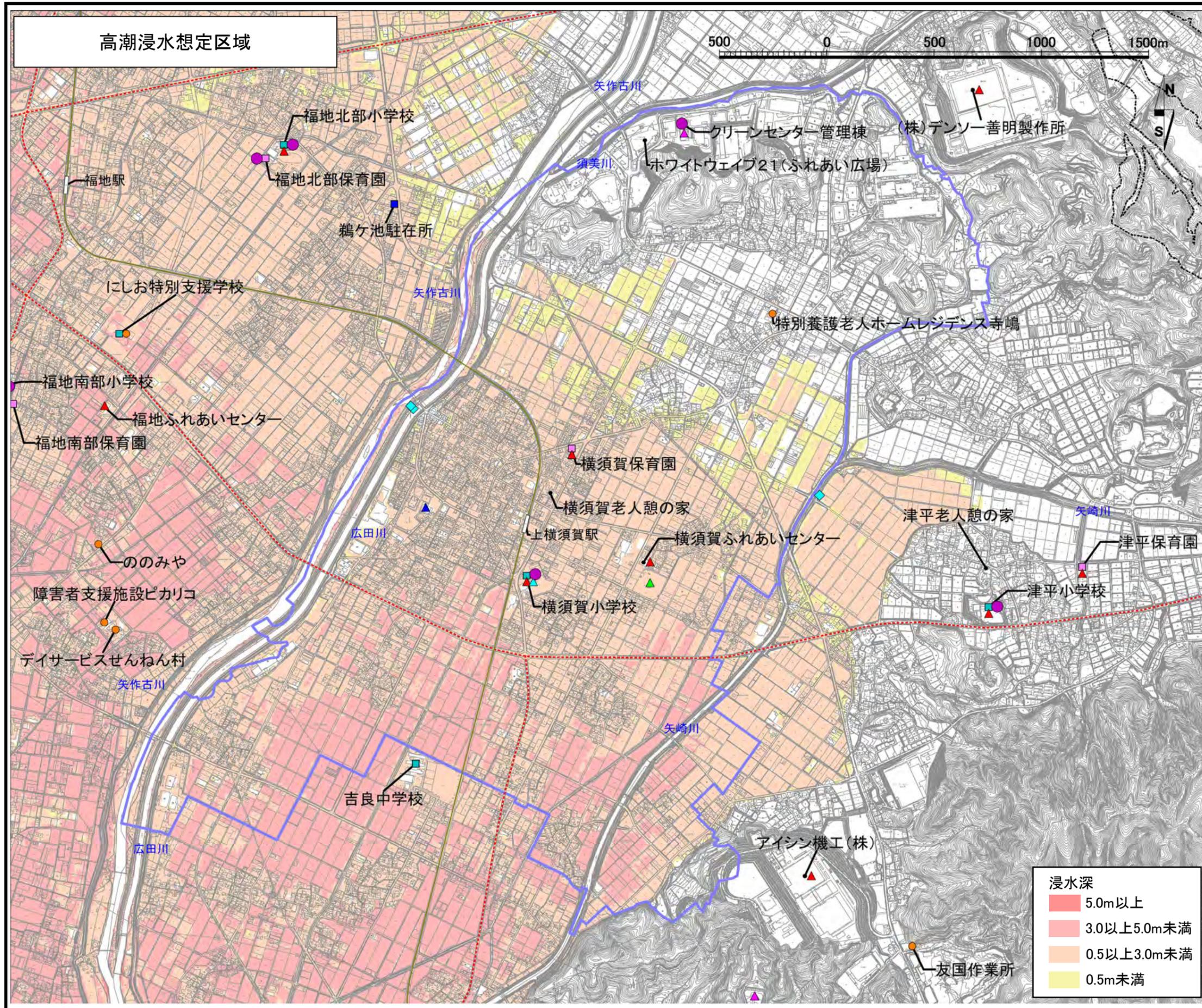
避難所収容者数	4330人
避難者数	7014人
最長避難距離	約 2.5 km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	5m以上10m未満
---------	-----------

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所 (高潮時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



浸水深	
5.0m以上	(Red)
3.0以上5.0m未満	(Orange)
0.5以上3.0m未満	(Yellow)
0.5m未満	(Light Green)